

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年7月11日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100013
法人名	社会福祉法人 佳成会
事業所名	グループホーム てらやま
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町6581番地2 (電話) 099-243-8811
自己評価作成日	平成29年5月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年6月14日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

四季の移ろいを肌で感じる風光明媚で自然豊かな場所に建つホームです。穏やかに流れる時間に心も体も癒されます。また2階から見る桜島の景観は、入居者様にとっても喜ばれております。

入居者様の馴染みある暮らしの延長線上に、自分らしく安心した生活を送れるアットホームな環境作りに努めています。近隣の散歩や地域行事(夏祭りや運動会など)に参加しています。地域住民とのふれあいを大事にし、社会とのつながりも充実しています。

ご家族が気軽に来訪していただける居心地良い環境と、話しやすく親しみやすい職員であることを心がけています。入居者の意思を尊重し、できる事をできる限り、メリハリのある自立した生活を送れるよう支援します。

職員は内外研修に参加し、一人ひとりのスキルアップを図り、チームケアとして資質向上してまいります。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所の母体法人は特別養護老人ホームやデイサービス・居宅介護支援事業所を運営しており、地域の高齢者福祉に貢献している。
- ・開設当初から地域とのつながりを大切にし、町内会へ加入し、清掃活動や地域行事への参加、法人行事への地域住民参加、消防避難訓練への地域住民の協力など、良好な関係が築かれている。
- ・日常のケアにおいて筋力低下防止と残存機能の活用で個別に自立に向けた取り組みを行っている。食生活で体調が改善した事例や排泄支援についての改善や行動が改善された事例がある。
- ・年4回の避難訓練を実施し、法人の協力体制や自衛消防隊の編成・地域の協力がある。防災ずきんや連絡カード等の工夫がされている。
- ・法人として職員の資質の向上とスキルアップを図り内外研修への積極的な参加と資格取得を奨励している。
- ・管理者・職員間のコミュニケーションが良好で離職者も少ない。チームケアをモットーに利用者それぞれの思いを大切にしながら自立に向けた支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝の申し送りで、グループホーム理念の唱和をし、職員同士で共有し、実践につなげている。	法人理念の他、職員全員で考えた事業所理念があり、玄関に掲示している。朝のミーティングで唱和、職員会議においてケアの振り返りを行い、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の夏祭りや運動会に参加したりして、地域との交流をしている。	町内会に加入して地域の清掃活動や夏祭り・運動会に参加している。ホームの避難訓練には地域住民の協力がある。小・中学生のサマーボランティアの受け入れや踊り・大正琴・ギターの演奏等、地域の方々との交流を図っている。散歩の時の声かけや野菜をいただいたり日常的に触れ合いがある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	3ヶ月に1回の消防訓練等に地域の方々も参加されたり、ボランティアにいられたりして、認知症の方々とはふれあいをもっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>偶数月に、町内会長、民生委員、ご家族に参加して頂き、行事の報告等や意見交換をし、サービスの向上につなげている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所から入所者の活動状況や消防訓練の実践と報告・外部評価の報告・地域からの情報の提供や解決策等、意見交換が行われている。ゴミ拾いの実践や花壇の花作り等、出された意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>生活保護受給者の方もいらっしゃるの、福祉課の職員の訪問があったり、病院受診等の報告等連絡をとりながら、協力関係を築けるよう努めている。</p>	<p>市の職員には、ケアプランを届けたり書類の更新や生活保護関係で窓口に出かけている。地域包括支援センターから運営推進会議に参加しており、日頃から連携をとっている。介護相談員の受け入れや自治体主催の研修会に参加して、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>入居者が自由に中庭や外に出入できるように、いつでも開閉できるようにしている。身体拘束禁止委員会を開催し、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>指針やマニュアルを基に身体拘束禁止委員会を3ヶ月毎に開催し、定期的に勉強会、事例検討会を開催、具体的な行為の確認と言葉による拘束も含め身体拘束ゼロを実践している。日中は玄関の施錠はしていない。外出したい願望がある時は職員間で連携を取っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>定期的高齢者虐待防止委員会を開催し、日常生活で虐待がないか話し合ったり、ケース会議等で問題等がないか常に職員同士で防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>ケース会議等や勉強会で資料等を参考に、職員も理解を深め、必要性があれば活用できる支援に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、内容を確認しながら、ご家族からの質問などを聞き、納得されるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議や家族会により、ご家族の要望等を聞きながら運営に取り入れている。</p>	<p>利用者からは日常会話の中で思いを聞いている。家族からは面会時や家族会・運営推進会議の時に把握している。アンケートを年に1回実施、お便りの交信でも連携をとっている。家族や利用者の要望で晩酌の事なども出て、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のケース会議や法人全体の会議において、意見や提案を聞く機会を設け、反映させるようにしている。	毎朝の申し送りや毎月のケース会議、月1回の法人の合同会議の時に意見や提案を聞いている。申し送りノートの活用や研修報告等でも、意見や提案があり情報を共有し運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員がリフレッシュできるよう希望を聞き、研修などへ行きやすいシフト作りをし、各自が向上心を持って働けるよう環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の職員会議の中で、内部研修を行ない、内部・外部からの研修をし、各自の仕事の中で活かせるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所間の研修や同業者との会「よかど会」などで交流を深め、意見交換などにより、サービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の困っている事や不安など要望等に耳を傾け、安心した生活が過ごせるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族から詳しく話を聞き、要望等は受け入れるように努力し、ご家族も何でも話せる信頼関係ができるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の面談やホームを見学していただき、必要としている支援を見極め、ケアプランを作成し、サービスに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が無理せず出来る範囲のお手伝いを声かけをし、出来るように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	2ヶ月に1回の近況報告書で、本人の状態を詳しくお伝えしたり、年間行事に参加していただけるように連絡し、家族との信頼関係を図るよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話をされたり、面会にも気軽に来ていただけるように努めている。	日頃から面会に来やすい環境づくりに努め、面会時には、お茶を出してゆっくり話ができるようにしている。馴染みの人への電話の取次ぎや年賀状などの支援を行っている。家族の協力でかかりつけの美容室に行ったり、外泊や外出も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士のトラブルがないように個々の特性を把握し、レクリエーションなどを通じ、孤立しないよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院や特養に行かれても、面会に行き話をしたり、家族からの相談に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを取り、本人の思いを引き出せるように努め、本人の意向に添った支援ができるよう努めている。	入居時のアセスメントや日常会話の中の表情・しぐさから思いを把握している。困難な場合は、家族や関係者から情報を聴いて、本人本位に検討している。特に入浴時や夜勤帯に個別に傾聴するように努め、把握した情報は全員で共有し介護計画やケアに反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人は勿論ですが、ご家族の方にも今迄の生活暦や好み等を聞きながら情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間での情報交換を行ない、その人らしく過ごすために、その日の心身状態やできることを見極めて現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1回のケース会議やモニタリングで、意見を出し合ったり、情報収集を行ない、相談し、検討しながら介護計画を作成している。	本人や家族から意見を聞き、主治医の意見を入れて担当職員が中心になり、複数の情報から介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月で行い、見直しは6ヶ月で実施している。状況に変化があった時は、その都度見直して現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>1日の流れや様子等、状態の変化や気付いた事などを個人台帳に記録し、その記録を元に情報を共有し、ケアプランの見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族のその時々ニーズに対応し、柔軟な支援、サービスを多機能化できるよう取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の方々の参加を得て行なわれる消防訓練や行事へのボランティアを受け入れ、入居者が安心安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医による定期往診を行っており、本人、ご家族との話し合いのもと、必要であれば他科受診を行ない、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>かかりつけ医は本人や家族の希望を大切にしている。殆ど協力医が主治医になっている。月2回往診があり看護師を中心に連携がとれている。受診結果はその都度、家族に報告している。専門医受診については家族の協力を得ながら必要時は職員で対応し、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	職員は、入居者の健康管理や状態変化に気づき、看護職員に報告、相談をし、入居者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院中の生活状況を職員が共有できるように定期的に面会を行っている。早期の退院ができるようにご家族の意向を含め、入院先の主治医との相談、回復状況をみて、入退院の調整を行なっている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	本人の状態の変化に伴い、その都度家族と相談しながら対応をしている。重度化した場合でも、ご家族や主治医と話し合いをしながら方針を共有している。	重度化や終末期についての指針を基に、入居時に説明し同意を得ている。医療連携体制があり、必要時には、主治医と連携しながら本人・家族の意向に沿った対応を、法人全体で行っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている</p>	マニュアルに沿って、初期対応や応急手当を、内部研修を行ない、実践力を身につけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立会いのもと消防訓練を定期的に行っている。またグループホーム独自の訓練も行ない、地域住民の方も参加して頂き、協力体制を築いている。</p>	<p>マニュアルがあり年に4回、3ヶ月毎に訓練を行っている。内2回は昼夜想定で消防署の指導のもと、消防避難訓練を実施している。法人全体や地域住民の協力体制も整っている。防災頭巾や連絡カードも設置している。防災設備の点検や避難経路、誘導等実施している。災害時の水や缶詰・カンパン・米等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人一人にあった生活や習慣を尊重したコミュニケーションや対応を行なっている。</p> <p>身体援助については、プライバシーが保護できるような援助に努めている。</p>	<p>マニュアルやガイドラインがあり、定期的に勉強会を開催し、確認と意識の統一を図っている。人格の尊重とプライバシーに配慮した声かけと対応を心がけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>活動する前に必ず本人の意思を確認し、自己決定できるような声かけを心がけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な日課はあるが、体調やその日その時の本人の気持ちを尊重し、食事時間や入浴日の変更、個別の散歩など柔軟な対応をしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>入浴、更衣の際は洋服を選んで頂いたり、職員と一緒に選んでいる。2ヶ月に1回の訪問カット(散髪)の援助も行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>その方に合った量、形状にして提供している。準備や後片付け、調理を職員と共にしている。</p>	<p>入居時に嗜好調査を行い、食事形態や代替え食など工夫している。菜園で一緒に育て収穫した野菜を食材に入れたり、節句や正月・誕生会等、季節の行事食や外食・ソーメン流し・バイキングなど、食事が楽しみなものになるよう支援している。職員と一緒に食事の準備や下膳等を行い個々の力を活かしている。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>月初めに水分摂取量をチェック記録し、一人ひとり把握している。管理栄養士による献立に基づき調理している。</p>			
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、声かけし自分で行なって頂いている。介助が必要な方は介助を行ない、口腔ケアをしている。(週2回ポリデント)</p>			
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握し、出来るだけトイレで排泄していただけるよう支援している。</p>	<p>排泄パターンの把握を行い、トイレでの排泄を支援している。パットの種類の検討、夜間のみポータブルトイレを使用するなど、それぞれの自立に向けた支援を行い状況に応じた対応をしている。リハビリパンツから布パンツへ改善された事例もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な運動と水分摂取、飲食物の工夫で便秘予防に努めている。医師より薬を処方されている方もおり、様子観察し、服薬支援を行なっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回の入浴になっているが、その方の体調をみて臨機応変に対応している。入浴ができない時は更衣や足浴と行なっている。入浴時間も本人のスタイルに合わせている。	基本的には週2回、午後から入浴となっているが、日曜日以外は毎日でも入浴可能な体制となっている。拒否のある利用者には声かけの工夫や時間差で対応し、無理強いはしていない。必要時には清拭や足浴など行っている。入浴後のベビーオイル塗布で皮膚の乾燥を防いでいる。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも昼寝したい方は、本人の要望を重んじて、自由に休んで頂いているが、できるだけ日光浴をしたり昼間の活動に心がけている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の状態に応じて看護職員と相談し、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法用量を理解しており、服薬支援状態の変化の確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	朝の掃除や食器洗い、洗濯物たたみ、テーブル拭きの声かけで手伝っていただいている。終わった時は感謝の気持ちを伝えるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外にでられる方は職員と一緒に散歩に出かけたり、外食や外泊を家族とできるように支援している。	天気の良い日は周辺や敷地内の散歩に出かけたり、庭に花を植えたり、ベンチで外気浴をして楽しんでいる。法人行事や地域行事の夏祭りや運動会等に参加している。年間計画での花見や初詣などの園外活動など、外出の機会が多い。家族の協力を得ながら外出や外泊の支援も行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の協力を得て、小額のお金を持っている人がいる。また預かり金がある方は欲しいものや外食で使えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	要望があれば職員が電話をし、話ができるようにしている。手紙などもお渡ししている。年末には年賀状もお渡ししている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングが広く開放感があり、台所も対面式のキッチンで利用者が手伝いが出来るようにしている。中庭でもくつろいでいたできるようにベンチも置いている。</p>	<p>共用空間は明るくて広く、温度・湿度の空調管理が整っている。手芸作品や季節の花が飾られている。ソファが置かれ、好みの場所でくつろげるようになっている。リビングから中庭へ自由に行き来でき、中庭には栗やビワの木、菜園では季節の野菜が植えられている。ベンチから桜島を望み、小鳥がさえずって癒しの空間である。台所も対面式で、利用者の手伝いや対話もしながら、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者同士コミュニケーションがとりやすいように席をたまに替えたりしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>いつも使われていたものを居室に置いて頂き、本人が模様替えされたり、自由に過ごして頂いている。</p>	<p>居室はエアコンが設置してある。家から持ち込まれたテレビやラジオ・テーブル・椅子・タンス・暦・時計等が置かれている。各部屋は、壁紙やフローリング・照明に変化があり、掃出し窓で開放感がある。居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内は手摺りが設置してあり、車イスの方なども自由に移動できるようテーブルの配置など工夫している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない